

組織目標評価報告書（平成21年度）

部局名： スポーツ教育センター

	組織目標	達成状況(成果)
教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教養教育科目:スポーツ実習D,E,Fをさらに充実させる。 ・ 大学コンソーシアム岡山における健康・スポーツ科学、およびスポーツ講座を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ実習D,E,Fの充実は、教材開発「リフレクションノート」に加え、学生指導を徹底するため、視察や相談会を随時行ったことから、受講学生にとってはかなり充実したものになった。この事業は、ボランティア活動の要素が強いこともあり、受講しない学生も多いが、今後とも継続してより充実をめざす。 ・ 大学コンソーシアム岡山の受講生はなかった。一方、スポーツ講座は参加者から非常に高い評価を得た。
	達成度: 4 ③ 2 1	
研 究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業との共同研究「新しいシューズの開発」を継続的に推進する。 ・ ITを用いた身体活動教材と身体活動増進プログラムの開発を推進し、授業での活用を検討する。 ・ 科学研究費補助金「現代GPにおける双方向スポーツ教育活動がもたらす教育効果」を推進する。 ・ 熱中症予防の啓発活動を行うと共に、その効果を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同研究「新しいシューズの開発」研究は継続的に推進しており、新しいウォーキングシューズは現商品の在庫調整ができ次第、販売を開始する予定である。 ・ ITを用いた身体活動教材と身体活動増進プログラムの開発は、検討ワーキングをつくり、教養教育:スポーツ実習の改革も含め、検討を加えた。大学内にWebClassが導入されていることもあり、教材開発を順調に進めることができた。次年度からは試行を開始し、平成23年度からの本格的実施体制を整えるべく準備を進める。 ・ 科学研究費補助金「現代GPにおける双方向スポーツ教育活動がもたらす教育効果」研究は、指導教材の改善やデータ収集が進んだ。来年度が終了年度であり、成果報告書の作成やシンポジウム実施などに向け、さらに推進する。 ・ 熱中症予防の啓発活動を行うと共に、その効果を検証した結果を、3月13日開催の「熱中症予防シンポジウム」で発表した。また、「熱中症予防対策マニュアル第3版」、「スポーツ指導者用熱中症予防ノート」を作成でき、運動部学生やスポーツ指導者に一部配布を開始した。次年度は2つの印刷物を用いて、熱中症予防のための教育支援活動を徹底する。
	達成度: ④ 3 2 1	
セ ン タ ー 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教養教育科目:健康・スポーツ科学の管理運営体制とカリキュラムを再検討する。 ・ スポーツ相談室をさらに拡充する。 ・ スポーツ医科学情報をホームページ等を通じて発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教養教育科目:健康・スポーツ科学の管理運営体制とカリキュラムについて、検討ワーキングにて検討した。新たなカリキュラム等の骨子ができ、教材開発に加え、IT活用や管理運営体制の検討が課題となる。スポーツ教育センターのスタッフ数や実施体制、各学部、委員会との調整をはかる段階にきた。 ・ スポーツ相談室は毎週金曜日にスポーツ障害相談、その他は随時相談業務を遂行した。 ・ スポーツ医科学情報をホームページ等を通じて発信する体制はでき、ホームページへの情報掲載をすすめている。
	達成度: ④ 3 2 1	
社 会 貢 献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域および中学校・高校において出前講座を行う。 ・ 総合型地域スポーツクラブを支援する。 ・ ボランティアスポーツ指導員の養成活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域および中学校・高校において出前講座・講演会講師は、計15回実施した。 ・ 総合型地域スポーツクラブの支援は、クラブマネージメントを含め陸上競技部、児童文化クラブと連携実施した。また、支援指導のための打ち合わせを定期的に行い、情報交換と問題点の共有化をはかり、順調にすすめることができた。 ・ ボランティアスポーツ指導員の養成活動を支援とともに、年1回の講演会及び打合せを開催した。
	達成度: 4 ③ 2 1	
<p>自己評価総括 今年度は計画通り、すすめることができた。特に、教養教育:健康・スポーツ科学の授業改革の方針と具体的取組に着手でき、大きな進展が得られた。また、次年度に向けて、課題とその取組計画ができたことから、健康・スポーツ科学の画期的な改善が望めると考える。来年度も健康・スポーツ科学の構築に向けた取組に尽力する。その他の事業も計画通り、あるいはそれ以上の取組ができたと思えるので、達成度は「4」が妥当と考える。</p>		

【達成度】 4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。

[組織目標一覧へ](#)